

会議録

会議名	令和7年度第1回北広島市スポーツ推進審議会
日時	令和7年9月18日(木) 午後6時30分から午後8時00分
会場	3階会議室
出席委員	寺田会長、佐藤副会長、柳沼委員、伊藤委員
欠席委員	碓井委員
市出席者	柴経済部長 【スポーツ振興課】杉原課長、白水主査、佐藤(仁)主事、佐藤(玄)主事

1. 開会 (午後6時30分)

①「委員の過半数が出席していることから、審議会が成立していること」を確認した。

②会議の非公開について

「協議事項①」については、北広島市情報公開条例第20条及び附属機関等の会議録等の公表に関する指針の3に基づき、会議の内容を非公開とする。

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

①令和7年度北広島市スポーツ賞等受賞者の選考について

(1) 諮問

令和7年度北広島市スポーツ賞等受賞者選考について、上野市長の代理として柴経済部長より寺田会長へ諮問

(2) 審議

資料に基づき事務局から説明

(3) 答申

審査の結果、受賞者を資料のとおり選考した旨を答申

②北広島市スポーツ振興計画の中間見直しについて

(1) 資料に基づき事務局から説明

(2) 質疑応答

ア) 中間見直しの基本的な考え方について

A 委員 スポーツ所管部局が教育部から経済部へ移管されたのは、アスリート育成が目的なのか。

事務局 当市における「スポーツ」の捉え方やスポーツ環境の変化を踏まえ、スポーツ

会議録

の持つ価値や魅力を健康・体力づくりや教育といった分野にとどまらず、幅広くまちづくりへ生かしていくという考え方に基づき、移管した。一部、教育的性質の強いスポーツ事業は教育部に残っている。

イ) 北広島市民の運動・スポーツに関する意識調査まとめ結果について

B 委員 感想として、スポーツをしたい人は多いが、そのわりには総合体育館の利用者数は少ないと感じた。

C 委員 恐らくアクセスの問題かと思う。

事務局 現在、F ビレッジがある場所に各種施設を整備し、「総合体育館」を含め「きたひろしま総合運動公園」としていく構想だったと認識している。

C 委員 恵庭市など近郊の体育館の使用状況はどのようになっているのか。

事務局 近郊の体育館利用状況は把握していないが、地区体育館には市外の利用者が増えている。

C 委員 大曲地区や西の里地区の市民が総合体育館を利用したいと思ってもアクセスが悪く利用しづらい状況である。地区体育館にはトレーニング室は作れないのか。

事務局 地区体育館は総合体育館のサブアリーナくらいの大きさの体育館と、卓球ができるスペースのプレイルームしかないため難しい。

B 委員 総合体育館の立地が変わらなければ利用する人は増えないのではないか。

C 委員 新駅が完成すれば利用者も増えるかもしれない。

A 委員 高齢者などは移動手段がないと利用しづらい。総合体育館を軸としたバスの運行があると良いのではないか。

C 委員 バスの運行自体が減っているため難しいのではないか。

A 委員 市民はバス料金が安くなるなどの施策があればバスの利用者も増えるのではないか。

B 委員 総合体育館の立地は、避難所としては最適な場所にある。

C 委員 過去に避難所として利用したことはあるのか。

事務局 過去に利用したこともあり、輪厚川氾濫の際の避難所にもなる。

(3) 今後の進め方について事務局から説明

4. 閉会（午後8時00分）